

# 八広・京島エリアマップ



- 凡例**
- |  |  |  |
|--|--|--|
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
- 小さな博物館  
 工房ショップ  
 神社  
 寺院  
 学校  
 図書館  
 警察署(交番)  
 郵便局  
 ホテル  
 トイレ  
 観光案内所  
 街あるき案内処  
 相撲部屋  
 名所・史跡・公共施設  
 裏面掲載史跡  
 都営バス  
 墨田区内循環バス  
 「すみだ百景すみまるくん・すみりんちゃん」

# 八広・京島

荒川からの風がそよいでくるエリア。古社寺探訪や、ぬくもりの下町散歩、  
今も残るかつての田園地帯の風情に浸るのも楽しい！

## 1 木下川薬師道の道標

享保年間（1716～36）、八代将軍吉宗が木下川薬師への道沿いに建てさせたと言われ、交通事情により現在地に移転。

## 2 三輪里稲荷神社

慶長19（1614）年、出羽国の羽黒大神の分霊を大畑村に祀ったのが始まり。木下川村、寺島村を含む三村の総鎮守。

## 3 萬福寺

大永7（1527）年、東福坊により創建。天和2（1682）年銘の庚申塔は、青面金剛六臂としては区内最古。

## 4 白髭神社（東墨田）

嘉暦2（1327）年以前の創建で、祭神の猿田彦命は木下川薬師の守護神ともいわれる。境内に百度石の標石が残る。

## 5 木下川梅園の跡

**勝海舟の別荘ともなった梅の名園**  
約6000㎡にも及んだという墨東最大の梅園の跡地。明治11（1878）年、勝海舟が木下川村の名主から買い取って別荘とし、同時に一般公開された。その後、徳川家が管理したが、大洪水での荒廃、荒川放水路の開削などにより土地のほとんどが失われた。現在は江戸川区に編入。東墨田東公園に説明板が立つ。



「尾形月耕（おがたげつこう）画  
「婦人風俗画帖」 木下川梅園」

## 6 高松プロダクション吾嬬撮影所跡

大正14（1925）年、社会啓蒙映画の草分けである高松豊次郎により開所。提携先のマキノ映画社の撤退などで約1年で休業。

## 7 香取神社

**小村井梅園を復活させて「香梅園」を併設**  
一帯はかつて小村江と呼ばれた古い土地。千葉県にある香取神宮の分社で、創建は永万元年（1165）年。併設された香梅園は近くにあった小村井梅園を復活させたもの。



## 8 大沢梅次郎像

梅次郎は明治22（1889）年、この地の旧家である小山家に生まれ、町会、東京府議会、市議会、都議会議員を歴任した。

## 9 吾嬬神社

**広重の浮世絵にも描かれる吾嬬の森**  
主神に弟橘媛命を、相殿に日本武尊を祀る。神域の森は「吾嬬の森」と呼ばれ、歌川広重の浮世絵にも多く描かれている。



## 10 白髭神社（立花）

祭神は猿田彦命で、旧葛西川村の鎮守。安永9（1780）年銘の社殿西側の鳥居は参道の二の鳥居を移築したものだ。

## 11 東漸寺

浅草寺の末寺。葛西三十三観音の一つ、十一面観世音菩薩像や宝暦13（1763）年銘の道標を兼ねた珍しい庚申塔がある。

## 12 北向地藏堂

「新四国南葛八十八カ所霊場」の八十五番札所と伝わる。中川から引き上げられた多くの水死者が葬られたという。

## 13 立花大正民家園（旧小山家住宅）

**農家と町家の造りを併せ持つ貴重な建物**  
旧葛西川村の名主である小山家の住宅で、大正6（1917）年築。園内には七福神の石像があり、わずか1分で「七福神めぐり」を楽しめる。区指定文化財。



## 14 大井戸稲荷

平井街道沿いにある古い稲荷で、井戸があり、かつては旅人がのどを潤す「人助けの稲荷」と呼ばれたという。

## 15 歌川豊広辞世狂歌碑

歌川派の基礎を築いた浮世絵師、歌川豊広の辞世の句を刻んだ碑。明治20（1887）年の60回忌に三世歌川広重が建立。

## 16 榎本武揚旧居跡

榎本武揚が明治38（1905）年から73歳で没する同41年まで暮らした屋敷跡。墨堤を馬で回る姿が見られたという。

## 17 成島柳北旧居（海棠園）跡

幕府の重臣から維新後は随筆家に転じ、活躍した柳北が明治11（1878）年から暮らした場所。庭には海棠が植えられていた。

## 18 力石（伍大力）

**江戸時代、力比べに使われた石**  
江戸時代に力比べや曲芸に使った重石。「四拾三貫目」（約161kg）、「伍大力菩薩」「寺島（島）村」と刻まれている。



## 19 秋葉神社

### 紅葉で知られる神社

江戸時代に火伏せの神として諸大名や奥方らの信仰を集めた。6基の区登録文化財の石燈籠にその名残がある。



## 20 森鷗外旧居跡

鷗外の少年期の屋敷跡。付近を流れる曳舟川から「曳舟通りの家」と呼び、鷗外は牽舟居士の号を用いた。

## 21 正圓寺

応仁2（1468）年開基。上野寛永寺にあった浅野内匠頭寄進の三代将軍家光の墓前燈籠や正徳3（1713）年銘の庚申塔が残る。

## 22 高木神社

### 旧寺島新田の鎮守

応仁2（1468）年創建とされ、第六天社とも呼ばれた。旧寺島新田の鎮守で、境内の犬狛は左右同形で阿吡の区別がない。



## 23 飛木稲荷神社

### 神社名の由来は風に運ばれた銀杏の枝

応仁2（1468）年の創建。暴風雨で飛んできた銀杏の枝が根づいたことを吉兆として祀ったのが始まり。木は戦災で一部焼失したが回復し、今は区の天然記念物に。



# キラキラ橋商店街

## ふれあいと下町情緒のあったかストリート

墨田区には47もの商店街がある。「地藏坂通り」「鳩の街通り」「業四市場」など、名前にも歴史やいわれがにじむ。戦前から続くところも多く、地域の人々の生活に欠かせない存在であるのはもちろん、観光客にも心なごむ下町情緒を味わわせてくれる。

その代表が「キラキラ橋商店街」。路地が入り組み、どこか懐かしいたずまいを色濃く残す京島にある。名前は一般公募で決定した愛称で、細い道の両側に80軒ほどの店が並ぶ。朝市や七夕まつり、びっくら市などイベントも数多く開催され、1年を通して元気いっぱい。また、オリジナル商品を「キラキラブランド」として販売している。



## 24 圓通寺

応仁元（1467）年の創建。寒念仏供養のために造られた、明暦2（1656）年銘の地藏像は区内最古の近世石仏。

## 25 東京スカイツリー®

### 高さ世界一の自立式電波塔

高さ634mは自立式電波塔としては世界一となる。350mと450mの2カ所には展望台を備え、2012年5月にオープンした。



## 26 春慶寺

### 「鬼平」の舞台となった寺

元和元（1615）年、浅草森田町に創建されたが、寛文7（1667）年に現在地に移転、押上の普賢様として賑わった。小説「鬼平犯科帳」のファンによる、剣友・岸井左馬之助の寄宿先としての碑がある。普賢堂には室町時代に作られたという木造普賢菩薩立像が安置され、境内には「東海道四谷怪談」の作家である鶴屋南北の墓などがある。



## 27 正観寺

文禄2（1593）年開基。境内には南葛八十八カ所霊場の六十七番札所である大師堂や江戸期の青面金剛などがある。

## 墨田区・一般社団法人 墨田区観光協会

TEL : 03-5608-6951 FAX : 03-5608-7130  
Email : sumida@visit-sumida.jp http://visit-sumida.jp/